

ベトナムの国花は「ハス」

日本の桜のように、ハスはベトナムを象徴し国民から愛される花です。



蓮の花



ベトナム航空の機体にも蓮の花が描かれている

2013年、文化スポーツ観光省がハスを国花に選定するよう提案し、首相がこれに同意しました。ハスはベトナムが原産地であることと、民族文化や国民性を体現しているとされたことがその理由です。ベトナムは国民の多くが仏教徒であるため、ハスの花を推す意見が多かったと言われています。仏教で、ハスは知性や慈悲の象徴で死後の極楽浄土に咲く花とされ、お釈迦様の台座もハスの花です。

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社(CAM)が作成したもので、投資信託の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料は CAM が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料に記載されている特定の企業名や商品名等は当資料の理解を深めていただくために紹介したもので、個別の銘柄の推奨を目的とするものではなく、CAM の運用ファンドにその銘柄を組み入れることを保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

蓮の花びらの上に立つ聖観音の像



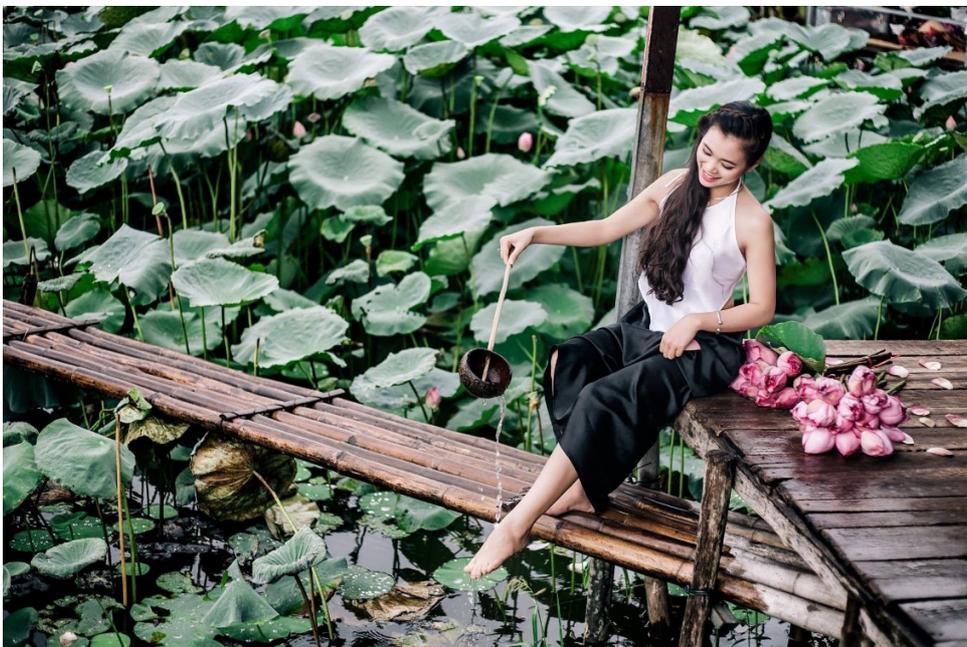
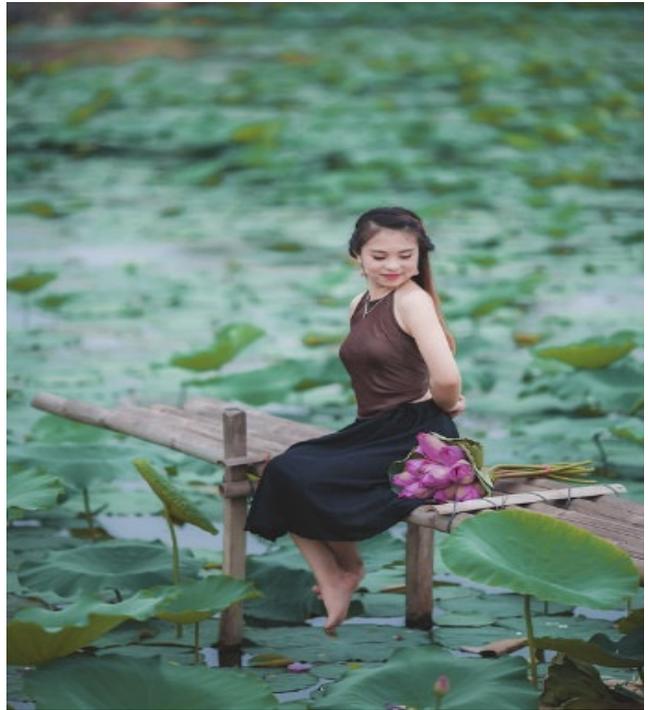
ベトナムでは、地域によりますが5～7月にハスが満開になり、一年に一度だけ開花します。ハスはベトナム全土で栽培されていますが、メコンデルタ沿いの地域に特に集中しています。

ベトナムでは鑑賞用だけでなく、ハスは食材としても利用されます。花の香りを生かして高級ハス茶が作られたり、ハスの葉はご飯やスティックライスを包むのに使います。また、茎は茹でてサラダのような和え物にしたり、蓮根スープとして食されます。

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社(CAM)が作成したもので、投資信託の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料は CAM が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料に記載されている特定の企業名や商品名等は当資料の理解を深めていただくために紹介したもので、個別の銘柄の推奨を目的とするものではなく、CAM の運用ファンドにその銘柄を組み入れることを保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。



蓮を描いた絵画



最近では、蓮湖（ハスを栽培している池）がインスタ映えすると若い女性に人気です。

【写真出所：JVRC】

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社(CAM)が作成したもので、投資信託の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料は CAM が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料に記載されている特定の企業名や商品名等は当資料の理解を深めていただくために紹介したもので、個別の銘柄の推奨を目的とするものではなく、CAM の運用ファンドにその銘柄を組み入れることを保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。